

消防ポンプ自動車（CD-I）仕様書

岐阜市消防本部

第1 総 則

- 1 本仕様書は、岐阜市消防本部（以下「本部」という。）が令和3年度岐阜中消防署東分署、瑞穂消防署巣南分署に更新配備する消防ポンプ自動車（以下「車両」という。）の製作及びそれに関する一切に適用する。
- 2 契約に当っては、本仕様書を十分熟知するとともに、疑義の生じた時は、本部に質問し、十分熟知のうえ契約すること。
なお、契約後の疑義一切は総て本部の解釈に従うものとする。
- 3 車両は、この仕様書に定める他、車両の規格等、関連法令、基準に適合するとともに、完成後は、道路運送車両法（昭和26年法律第185号）及び道路運送車両の保安基準（昭和26年運輸省令第67号）に適合し、緊急自動車として承認が得られるものであること。
- 4 車両は、緊急消防援助隊設備整備の災害対応特殊消防ポンプ自動車（CD-I）補助対象規格に適合すること。
- 5 製作に先立ち受注者は、次の図面（A4ファイルにて製本）を提出して承認を受けるとともに、本部と製作上細部にわたり十分な打合せを行い指示を受けるものとする。
 - (1) 承認図等（契約締結後8週間以内）

ア 製作承認図（5面 前・後・上・左・右）	2部
イ 製作工程表	2部
ウ 諸元性能一覧表（ポンプ鑑定書含む）	2部
エ 配管図及び特装部の配線図	2部
オ その他本部が指示する図書	
 - (2) 完成車納入時（キングファイルNo.1473×2）

ア 車両点検整備説明書（車両修理書）	1部
イ 消防ポンプの点検整備書及びパーツリスト	各1部
ウ 取付け装備品及び機器の保証書	1部
エ 自動車検査証等の写	1部
オ 写真（外観四面）及び工程写真	2組
カ 重量実測証明書・転覆角度実測証明書 悪路走行試験検査証明書	各1部
（新規登録検査前に提出すること。）	
キ その他本部が指示する図書	
- 6 製作に伴う諸種の理由で本仕様書に変更を必要とする時、或いは疑義の生じた時は直ちに本部に連絡のうえ、消防課員と協議すること。
- 7 製作に当っては、次の点に留意すること。

- (1) 車体は、常時登録された車両総重量の状態において十分耐え得るものであり、軽量頑丈優美であること。
- (2) 取扱い操作が簡単であり、点検及び整備が容易に行えること。
- (3) 製作艱装全般にわたり厳重検査を実施すること。

第2 概要

- 1 この車両は、キャブオーバー型ダブルキャブの後方にポンプ室、自動昇降装置付加納式ホースカーを備えた車両であること。
- 2 ダブルキャブの助手席1セット、後部座席背部（ボンベボックス）に空気呼吸器3セットを取付け、隊員がその位置で簡単、迅速に装着できる取付け装置を設けること。
- 3 ポンプは、シャーシ固有の動力伝達装置で駆動する高圧二段バランスタービンポンプを装備し、井戸、河川、消火栓等の水利から強力な放水ができ、火災、その他あらゆる災害に迅速、かつ的確に活動し得る構造であること。
また、長時間の連続放水等で、排気ガス浄化装置が自動再生又は、手動再生ができて活動に支障をきたさない構造であること。
- 4 車両の隊員席にエアコンディショナーを設けること。

第3 仕様

1 シャーシ

(1) シャーシ型式

ア シャーシ	ダブルキャブ型（消防車仕様とする）
イ ホイルベース	2, 500mm以上3, 000mm未満
ウ エンジン	ディーゼルエンジン 排気量4,000CC以上 新長期規制値をクリア
エ 駆動方式	4WD（マニュアルトランスミッション） （巢南分署は、2WDオートマチック）
オ 全長、全幅、全高	5,900mm×1,900mm×2,700mm 以下
カ 乗車定員	5名
キ 車両総重量	6,000kg 未満

(2) シャーシ装備品

ア 動力伝達装置	P T O
イ エンジンガバナ	オールスピード式
ウ オイルクーラー	
エ 補助クーラー	
オ 電圧計	
カ ジェネレーター	24V－80A以上
キ バッテリー	24V－100AH以上×2個 バッテリー点検が容易に実施出来る構造であること
ク カーラジオ	AM/FM付き、オーバーヘッドに移設

- ケ サイドバイザー 各ウインドーに取付け
- コ 助手席にサンバイザー取付け
- サ スタッドレスタイヤ（全輪、スペアタイヤ含む）
- シ LED式ヘッドランプ
- ス パワーウインドー
- セ 電波式施錠装置
- ソ アウトサイドミラー（助手席側電動格納式）
- タ フロントバンパー前出し（アルミ縞板付き）
- チ 隊長用補助ミラー
- ツ 車両バッテリー充電器（ズボラ 接続コード10m含む）
- テ リヤバックアイカメラ

(3) 付属品

- ア スペアータイヤ
- イ 自動車標準工具

2 艀装材料は、次に掲げるもの又はこれらと同等以上の強度及び耐久性を有するものを使用すること。

日本工業規格（工業標準化(昭和24年法律第185号)第17条第1項の日本工業規格をいう。以下同じ）

部 品 名		材 料	
ポ	羽根車	日本工業規格	H 5 1 2 0（銅及び銅合金鋳物）
		〃	H 5 1 2 1（銅合金連続鋳造鋳物）
	ポンプケース	〃	H 5 1 2 0（銅及び銅合金鋳物）
		〃	H 5 1 2 1（銅合金連続鋳造鋳物）
〃		G 5 5 0 1（ねずみ鋳鉄品）	
ン	ポンプ軸	〃	G 4 3 0 3（ステンレス鋼棒）
		〃	G 4 1 0 2（ニッケルクロム鋼鋼材）
プ	真空ポンプ	〃	H 5 1 2 0（銅及び銅合金鋳物）
		〃	H 5 1 2 1（銅合金連続鋳造鋳物）
	真空ポンプ軸	〃	G 4 0 5 1（機械構造用炭素鋼鋼材）
	重要動力伝導軸	〃	G 4 0 5 1（機械構造用炭素鋼鋼材）
	重要動力伝導歯車	〃	G 4 0 5 2（焼入性を保証した構造用鋼鋼材(H鋼)）
吸、吐水用配管	〃	G 5 5 0 1（ねずみ鋳鉄品）	
	〃	G 3 4 5 2（配管用炭素鋼管）	

ホース結合用ネジ部	〃	H 5 1 2 0 (銅及び銅合金鋳物)
	〃	H 5 1 2 1 (銅合金連続鋳造鋳物)
	〃	H 5 2 0 2 (アルミニウム合金鋳物)
車の構成材	〃	G 3 1 0 1 (一般構造用延鋼材)
注 通水内面には、防食処置を施すこと。(ただし、銅及び銅合金部分を除く)		

3 主ポンプ

(1) 高圧二段タービンポンプとする。

性能は、国の定めるA-1級の規格に合格するとともに、次の数値以上の性能を有すること。

ア 規格放水量 送水圧力0.85MPaにおいて2.8m³/min以上

イ 高圧放水量 送水圧力1.4MPaにおいて2.0m³/min以上

(2) ポンプは、シャーシに確実に固定し、振動等によって移動又は破損等が生じないように取付け、特にエンジンマウンティングの影響により支障のないよう留意すること。

(3) 主羽根車

羽根は、斜流型であって、軸上に向かい合って組合せ高圧発生の場合でも軸に横押しの力がかからず、羽根及び水路の肌は滑らかで高性能を発揮すること。

(4) ガイドベーン

羽根及び羽根の周囲に設けられた水路は高圧性能に適した合理的な構造であること。

(5) グランド部の漏水は、一切の構造機構にかからぬよう、パイプを以て下方に導くこと。

(6) グランドパッキンは、手入れ及び締付けが容易に出来る構造とすること。

(7) 軸受部は、グリス注油装置を設けること。

ア 注油部は、ポンプシャフトメタル部及びグランド部とする。

イ 注油装置は、カップ圧送式とすること。

(8) ポンプ本体下部にドレンコックを設けること。

ア 各段毎に設けること。

イ コック操作は、ポンプ作動レバーと連動とする。(電磁式バルブには手動式バルブを取り付けること)

ウ 排水が車両構造等にかからないよう配慮すること。

エ ポンプドレンコック開閉ピンを付属すること。

4 真空ポンプ

真空ポンプは無給油式とし、本市の地形的特徴水利状況を考慮し、最大真空度が高く高落差でも吸水条件のよいピストンを左右に動かし、吸排気バルブにより空気を排出する方式、またはエゼクター方式とすること。

(1) 性能

回転数1,200rpm吸管(75mm×10m)外端部閉塞にて次の数値とする。

ア 30秒以内に試験時大気圧の84%(約-0.085MPa)以上

イ 漏気は30秒間1.3KPa以下

- (2) 動力伝達装置は、機能確実で振動及び騒音が少なく、歯付ベルトによりスムーズな伝達が円滑に脱着できる構造で、完全揚水（水圧 0.3MPa 以内）と同時に自動的に停止するものであること。
- (3) 非常用の別系統スイッチを車両右側に設けるものとする。
- (4) 気水分離機を必要としない構造とし、吸水配管内の空気を効果的に排出するエアチャンバ方式とする。
- (5) 車両軽量化のため、ケーシングはアルミ製とすること。
- (6) 操作盤上に真空作動、停止（緊急減圧機能兼用）を設け、操作性を考慮し 20Φ 以上の照明スイッチを設けること。

5 主ポンプ伝導装置（シャーシ固有のもの）

- (1) 本伝導装置は、主ポンプへの伝導を容易に接断し、走行用の動力を任意かつ容易に切替え得る構造とする。
- (2) ポンプ回転時は、エンジンクランク軸から直接動力を伝え、高効率で操作容易なものとする。

6 吸水口

- (1) 吸水口は、ポンプ室両側に各一個設け 90 mm ボールコック付きとし、それぞれストレーナーを設けるものとする。
- (2) 吸水口には自在エルボを取付け、これに 75 mm × 10 m のソフト吸管を接続し、車体両側に収納装置を設け固定する。
- (3) 吸水配管は、流水抵抗をできるかぎり少なくするよう努めること。
- (4) パイプ及びボールコックには残水を完全に排水できるよう傾斜をつけドレンコックを設けること。

7 呼び水装置

呼び水装置は、吸水量 1,000ℓ/min（吸水高 3 m）のとき、バルブを全開しても落水せず、60 秒以内に揚水を完了できるもので、揚水確認が容易にできる通水確認装置を設けること。

8 中継吸水口

- (1) 中継吸水口は、ポンプ室両側に各一個設け、65 mm ボールコック（ストレーナー付き）を取付けること。
- (2) パイプ及びボールコックには、残水を完全に排水できるよう傾斜をつけドレンコックを設けること。

9 放水口

- (1) 放水口は、ポンプ室両側に各二個設け 65 mm ボールコックを取付けること。
- (2) ボールコックは、高圧力においても容易に開閉操作ができること。
- (3) 放水配管及びボールコックの残水を完全に排水できるよう傾斜をつけドレンコックを設けること。
- (4) 自動放口閉塞弁（天頂バルブ）については、車が傾斜しても自動的に閉じる構造とすること。

1 0 冷却水配管

- (1) ギヤケース、エンジンオイル及びラジエター水の冷却のため冷却水配管を放水配管から取出し、設けること。
- (2) 配管は、一系統にまとめバルブで調整でき、調整バルブに予備回路を設け、それぞれにストレーナーを設けること。(ストレーナーの清掃が容易に出来る構造とする)

1 1 ポンプ操作装置

- (1) ポンプ操作に必要な各装置はポンプ室左右に設けること。
- (2) ポンプ操作装置は、視認性に優れたLEDバックライト式高解像度7インチ以上のカラー液晶で、操作スイッチは画面と一体式に取付けられている押しボタンスイッチにより、運転及び画面切り替え等の操作が容易に出来るものとする。

また、画面には吸水口、中継口及び放水口の開閉表示、真空ポンプの作動表示、冷却水の通水不良表示、主ポンプの運転状況及び放水時において、各放水口の水の流れが把握でき、個々の流量表示ができること。
- (3) ポンプドレンコックは、ポンプレバーと連動式とする。
- (4) 真空ポンプ作動方式は電動ワンタッチ式操作ボタンとし、ポンプ室両側に設け、予備操作装置はポンプ室右側に設けること。

なお真空ポンプの停止スイッチは筒先要員の安全確保の為に緊急時減圧機能(エンジン回転を一気にアイドルリングまで下げる)を兼ね備えること。
減圧後にスロットル操作をすれば、直ぐにスロットルアップができる構造とする。
- (5) スロットルハンドルは電子スロットル式とし右回転でスロットルアップできスロットルの開度変更(開度4パターン方式)が出来ること。また自動調圧装置を左右に取付けること。
- (6) 操作装置左右(計器板)に揚水確認灯を設けること。
- (7) 操作装置左右(計器板)にPTOスイッチ(ON・OFF)を設けること。
- (8) メンテナンス対応の迅速化の為、故障原因判定機能を設けること。
- (9) ポンプスロットルは電子式(エンコーダ)スロットルとし、スロットルの作動状態については、左右ポンプ操作装置に設けた多目的表示ディスプレイに表示すること。

なお、表示はPTOがON状態時に反応すること。
- (10) PTOがOFFの時は、電子スロットルを操作してもエンジン回転操作ができないインターロック機能を設けること。
- (11) 多目的液晶ディスプレイ内で、取扱説明、不具合時の対応フローチャートをPDFで表示ができ、拡大・縮小もできること。
- (12) 圧力計・連成計(リタード式)は視認性を良くするため100Φとし、ステッピングモータを用いた電子式(透過光照明灯、ゲージ部作動確認ランプ付)とし、振動等でも針振れがない構造とすること。
- (13) 点検を容易にするため、液晶パネル内に真空テストボタンを設け、エンジンをOFFにしなくてもポンプ操作装置に設けられたPTOスイッチのOFFのみで漏気チェックが可能なこと。

1 2 ホースカー

ホースカーは65mm×20mホースが8本及び50mm×20mホース3本が積載でき、できるかぎり軽量化し、タイヤはノーパンクタイヤとする。(4段積み、カバーは内張り式) また、50mmホース3本は、箱型ケースに入れ収納し、取外しができ、ケースの取手は折り畳み式とする。(取手は片側2箇所とすること。)

1 3 車体の構造

- (1) 艀装材料の厚さは次によるものとし、フロアステップ、バンパー上部、リヤフェンダー上部及びその他必要とする部分はアルミ縞板であること。

ア 側板	1. 6mm以上
イ サイドエプロン	1. 2mm以上
ウ フェンダー	1. 0mm以上
- (2) ボデー側板は一般構造用圧延鋼材を使用して周辺を外側に折り曲げ加工しフラットとするとともに、加工部位はケガ等しないように研磨する。
- (3) 荷台上部は、アルミ縞板でフラットにするとともに、車両後部まで覆うこと。
- (4) サイドステップ及びリヤステップは縞アルミ板で外端部を折り曲げ加工とする。
- (5) ポンプ室上部にホース等の積載ができる収納庫を設け、ポンプ点検用の扉を出来るだけ大きく設ける。

なお、中央に容易に脱着出来る間仕切りバーを2段に取付け、左右扉は、鍵付きシャッター(大阪サイレン 33B型)で照明灯(LED灯 MYSB-L9-W)を設けること。(スモール連動スイッチ付き)
- (6) ポンプ室の側板は、吸、放水コックの補修に必要な箇所は取外しの出来る構造とする。
- (7) サイドステップは、キャビン付近まで設け、吸水口、放水口下部のステップ上左側に収納ボックスを出来る限り大きく設けること。

なお、扉には、安全上補助ロックを各2個取付ける。
- (8) 左右吸水管の渦巻中央にBoxを設け、可動棚を作成し取付けること。

(安全上補助ロックを取付けること)
- (9) 無線機(取付金具スペース)、ラジオはオーバーヘッドコンソールに設置し、電子サイレンアンプ及び集中スイッチ(大阪サイレン SBW-100)は、ダッシュボードに取付けること。(夜間見易いように照明付き)

また、前席中央にボックスを設け、運転に支障がない大きさをボックスを作成すること。
- (10) 三連梯子取付け装置は、荷台上部左側に手動式シーソーダンパー方式とし、梯子を確実に固定できる構造とする。(関東梯子 KHFL-ライト64 支給品)

なお、引出しと降下の動作を二段に分けて、レバーハンドル操作で、ワンタッチ固定とし積載時にもキャビンの昇降操作が出来ること。
- (11) 折りたたみ梯子(KS-1-36)を右側面上部に出来る限り低く取付けること。
- (12) とび口は左吸管上部に出来る限り低く取付けること。
- (13) 車体の後部右側に昇降用梯子(ステンレス製、主管幅300mm)を取付けること。

また、既存の船外機を昇降用梯子横棧に取付けができる構造とし、それに伴いアタッチメントを作成すること。(船外機ヤマハ F15CMHS)

- (14) 金てこ、消火栓開閉金具（大箱ネジ回し）スタンドパイプ、車輪止めは、ホースカー左側側壁に、剣先スコップは左吸水管ステップ下に取り付けること。
- (15) ポンプ室後部の器材収納庫は2段に仕切りシャッター（大阪サイレン 33B型）とし、照明灯（LED灯 MYSB-L9-W）を設け間仕切り板（L型3個）を取り付ける。（夜間開いた時点灯、スモール連動）
なお、油圧ポンプ等が有る場合は保護板にて覆うこと。
- (16) ホースカー積載部上部天蓋、左右計器付近に照明灯（LED灯 MYSPL-18-W）を取り付けること。（スイッチ付き）

1.4 外装部

手すり及び部品等は可能なかぎりステンレス製を使用し、メッキ可能な積載品は、総てクロームメッキを施すこと。

(1) 塗装

ア 車体は、特殊化学液にて充分錆落としのうえ、燐酸塩被膜を形成後プライマー、パテ水研ぎ、サーフェーサーを行い、朱色アクリルウレタンにて3回以上の吹き付けを行い、充分乾燥させること。

イ 収納室内はグリーン塗装とする。

ウ ポンプ関係及びシャーシフレームは、メーカー標準色の塗料で入念な塗装を行うこと。

- (2) 各操作レバー、バルブ及びコック類には文字の消えにくいネームプレートを設けること。
- (3) 後部ドア、標識灯及びキャビン上部に指定の文字（寸法等は別に指示）を記入すること。

1.5 取付品及び取付装置は次に掲げるもの

- (1) ポンプ圧力計 2個
- (2) ポンプ連成計（リタード式） 2個
- (3) エンジン回転計 1個
- (4) エンジン油温計 1個
- (5) 赤色警光灯
 - ア 上部（大阪サイレン製 NF-ML-VAK2M-HA2 型標識灯付） 1個
 - イ 後部（大阪サイレン製 LFA-200 保護枠付） 1個
 - ウ フロントパネル（大阪サイレン製 LFA-200） 2個
- (6) 電子サイレン（大阪サイレン製 TSK-D152） 1個
署用標準搭載メッセージが使用できること（音声キャンセルスイッチ、マイク付き及び出動予告放送付き）
- (7) 照明灯
ポンプ室上部にLEDランプ（小糸製作所MYS-75LP型 カバー付き）を設け、支柱（FRC社）は1m以上上下すること。
- (8) 後退警報器 1個
（夜間停止式）

- 1 6 軽微な変更として備えることができる取付品及び取付装置は次に掲げるもの
- (1) 電動サイレン（自動吹鳴付）（大阪サイレン製 5 S Aと同等品） 1 個
 - (2) 電子式流量計及び積算計（デジタル式） 左右各 1 個
 - (3) キャブチルト装置（電動油圧式）
 - (4) オイルパンヒーター コード 10m 付き（コード接続部は外付け）
接続部は、ズボラ充電器と共用し、切り替えスイッチを設けること。
 - (5) 不凍液注入装置
 - (6) 車外無線ボックス リヤタイヤハウス上部付近に埋込式とする。
なお、車両動態装置の車外設定器、スピーカー及びハンドセットを取付けること。
 - (7) ワイヤレスマイク装置（ユニペックス）

システムケース（チューナー内蔵）	NDW-301	1 個
ワイヤレスアンテナ	AA-3800B	2 個
ワイヤレスマイク	WM-3000A	1 個
 - (8) バッテリーメインスイッチを設けること。

1 7 積載品及び付属品

- (1) 備えなければならない附属品

品 名	数 量	備 考
吸管(ラセンライン)	2 本	75mm×10m（エルボ付き）WS200MZ
吸口ストレーナー	2 個	
吸管ストレーナー	2 個	（IWA製）
吸管ちりよけ籠	2 個	（IWA製ヒッパラー媒介、差込オス媒介付き）
吸管まくら木	2 個	
吸管ロープ	2 本	10mm×12m（ナス環付）
消火栓金具	2 個	75mm メスネジ×65mm 差込メス
中継用媒介金具	2 個	65mm メスネジ×65mm 差込メス（ストレーナー付き）
消火栓開閉金具	各 1 個	地上式用、地下式用
吸管スパナ	2 丁	
管そう	1 本 1 本	C 型 65mm オスネジ×65mm 差込メス 350mm C 型 65mm オスネジ×50mm 差込メス 350mm 背負いバンド付き
ノズル	2 本 2 本 2 本 各 1 本	ダブコンマーク II スパコンノズル NH-50SC ブルーデビル BD-50M 水用ノズル（23, 26mm）車体に取り付け
放口媒介金具	4 個	65mm メスネジ×65mm 差込オス
とび口	2 本	約 1.8m（柄は櫂）
金てこ	1 本	約 0.8m（取付け）
剣先スコップ	1 丁	左ステップ下部に取り付け

ホース延長用資器材 (ホースカー)	1台	65mm×8本、50mm×3本積カバー付き 65、50mm用管そう立て、分岐管用金具各1個
はしご	1梯	関東梯子製 KS-1-36
車輪止	2個	ゴム製(取付け)
消火器	1本	自動車用(ABC6kg 取付け)
ポンプ工具	1式	

(2) 軽微な変更として備えることの出来る附属品

品名	数量	備考
タイヤチェーン	1式	SCC Japan 製
分岐管	2個	65mm×65mm 差込メス 2線個別(マルチコネクタ式1個含む)
ホースブリッジ	2個	支給品
両端アワイヤーロープ	2本	10mの圧縮止 φ8mm
照明器具	各1個	LED 投光器(Nomad360) ホンダ EU18i (カバー付き)
ホース背負器	2個	65mm ホース 2本積み
斧	1個	
掛矢	1個	胴径 150mm 以上
スタンドパイプ	1本	単口引き上げ式 P S 65 715mm
クリッパー	1個	MCC 製 BC-0760 10mm 対応 長さ 600mm
鋸	2個	片刃 刃渡り 400mm 以上 ケース付き
大ハンマー	1個	胴径 50mm 以上 全長 900mm 以上
携帯用破壊器具	2個	トップマントビと同等品
ディスクストレーナー	1個	D75S
ホース漏水防止バンド	10個	マジックテープ式
コードリール	1個	30m 125V-15A 2P×4
媒介金具	各1個 4個 1個	65 差込オス×65mm 差込オス、65mm 差込メス×65mm 差込メス 65mm 差込メス×50mm 差込オス 65mm 差込オス×50mm 差込メス
伸縮カラーコーン	5個	モリタ AA-001-24-L 60cm ランプ付き
強カライト	2個	乾電池付き (パナソニック BF-BS05P)
トランシーバー	4個	八重洲 FTH-307 乾電池、イヤホン付き
アルミボックス	1個	500mm×500mm×1100mm 荷台上部に取付け
新型消火栓開閉金具	1式	
機関員用ベスト	1着	
マンホール蓋開閉器具	1個	OGA バール H-1K (株式会社オカモト)

1 8 その他の艤装及び装備品

- (1) 消防章を車体前部中央付近に取付けること。
- (2) 標識板をフロントパネル付近に取付けること。(真鍮製)
- (3) 後輪照射灯(LEDライトPY-9268RR)左右サイドステップ下部に取付けること。
- (4) 泥よけを4輪に取付けること。
- (5) キャブ内に地図等収納箱を設けること。(サイズ等別に協議)
- (6) キャブ中央に大型室内灯を設けること。(LEDライト)
- (7) 全席に超防汚シートカバーを取付けること。
- (8) ポンプ操作装置左右にLEDライト(側板折り曲げ部下側及び側板にLEDライトMYSPL18-W)を取付け、後部ホースカー上部及び車両後部にLEDライト(LEDライトMYSPL18-W)を取付けること。
- (9) 媒介金具等は、なるべくヨネ製を使用すること。
- (10) 収納庫、ボックス内の全てにすのこを設け、安全上補助ロック、落下防止措置を講ずること。
- (11) 車両動態装置(AVMGPS)
既存の車両に積載してある車両動態装置(AVMGPS)を取外し納入する車両に取付け、アンテナ等は、専用台を設け配線貫通部は専用の防水金具を使用し、取付けること。(配線及びアンテナは新品を使用すること。)
また、助手席グローブボックスを取外した箇所にアルミ板を貼り、モニターを取付けること。
なお、以下の端子を装備した車両位置動態車載端末装置アダプターボックスを取付けること。
ア バッテリープラス端子
イ バッテリーマイナス端子
ウ ACC端子
エ 車速パルス信号端子
オ バック(後退)信号端子
- (12) 無線電話装置
既存の車両に積載してある無線機を取外し、納入する車両に取付けること。
なお、配線、アンテナ及びスピーカー等は新品を使用し、無線機本体部は後席下付近に専用架台を作成し取付けること。
- (13) ドライブレコーダー
ドライブレコーダー(STR-200、補助カメラ、専用SDカード、再生用ソフト)新規品を納入する車両に取付けること。
- (14) ドライブレコーダー連動のバックソナーを取付けること。
(市光製バックソナー4箇所)

1 9 キャビン内助手席に、埋め込み式の空気呼吸器取付け装置を設けること。

(レスキューシート クイックホルダー内蔵)

また、後部座席に空気呼吸器取付け装置(クイックホルダー)を設けること。

(クイックホルダーは、アタッチメントで、60、80ボンベに対応できること。)

1式3セット

- (1) 空気呼吸器取付け部下に物入れを設け、呼吸器下面にクッション材を設けること。
- (2) 面体掛けを設けること。
- (3) 後部座席下に車両動態端末器材取付けボックスを設けること。
- (4) キャビン内のセンターピラー間に、強度の高いパイプを後部座席用手摺りとして設け、S型ロープ掛けを3個取り付けること。

20 記入文字

文字（丸ゴシック体カッティング）は、キャビン上部に白色テープで対空表示「岐東2」、「巢南2」（縦60cm、横50cm）左右後部ドアに「岐阜市消防本部」（縦12cm、横10cm）とオラフォルリフレクティブソリューションズ社製反射テープで貼り付け、標識灯は黄色地に黒色で「東」、「巢南」、標識板は「岐阜市」（真鍮製）と貼り付ける。（文字は左読みとする）

また、車両両サイドとリヤに「再帰性に富んだ反射材」を貼り付けること。（サイズ等は協議）

第4 検査

1 中間検査

各艀装部分及び取付け品の位置、固定方法等について艀装中本部職員をして中間検査を実施するものとする。

2 完成及び検収検査

新規登録検査に合格後、本部が本仕様書に基づいて各種検査を実施し、全てが良好と認め受注者から車両を受領して完了する。完了後、受注者は納品書を本部へ提出すること。

しかし、検査の結果で本部が不合格と認めた箇所については、受注者は速やかに改修をし再検査を受けること。

なお、改修等に要する費用は受注者負担とする。

第5 補則

1 本仕様書に定められない事項でも、受注者が公表している仕様工作上において、当然なことはこれを施工すること。

2 資器材等については、努めて軽量化を図るものとする。

ただし、強度を保ち変形しないこと。

なお、軽量化に伴い変更の場合は本部と協議をすること。

3 完成車は、中部運輸局岐阜陸運支局の行う新規登録検査及び緊急車指定申請手続きを完了後に本部へ納入する。

4 自動車損害賠償責任保険、登録手数料、その他新車登録手続きに必要な経費（重

量税を除く)を含む。

- 5 完成車は、新規登録検査に合格後、各部の給脂等の点検整備を入念に実施し、燃料を満量にして納入検収を受けること。
- 6 保証期間が経過後といえども、使用資器材等及び艤装による不備欠陥等による故障破損等の一切は受注者の責任において速やかに修理若しくは交換し、それに要した費用は受注者が負担する。
- 7 アフターサービスは良心的に実施するとともに、修理を要するものについては、迅速、かつ的確に行うこと。
- 8 保証期間は、納入検収後1年間とする。
- 9 完成車の納入期限は、令和4年3月25日とする。

10 納入場所及び数量
岐阜市長が指定する場所

所 属	住 所	数 量
岐阜中消防署東分署	岐阜市芥見南山2丁目4番32号	1台
瑞穂消防署巢南分署	瑞穂市森435番地	1台

以上

※ 担当 岐阜市消防本部消防課 林 TEL 058-262-7162
FAX 058-266-8154